

## 一人ひとりの思いがひとつになって、パワー全開



自分も楽しく  
みんなで楽しく



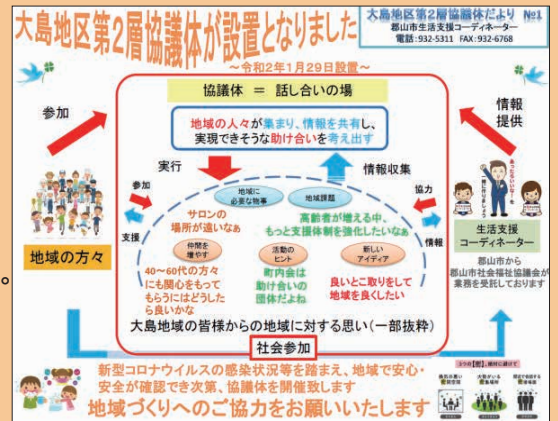
みんなで  
心をひとつに!

### 協議体の方向性

地域の方々に協議体の目的についてご理解・ご協力を得ながら、多くの仲間づくりに取り組んでいく。

### 協議体参加者の声

- ・大島地域は、色々な行事について協力性があり、とても良い地域だ。高齢者が増加しているため、もっと支援体制が出来れば良い。
- ・隣組の充実、助け合い活動の実践。
- ・簡単なことからやっていけば出来るかな・・・。  
(あいさつ・近所同士の見守りなど)



### 【地区の特徴】

郡山市の中心部に位置し、並木1～5丁目、朝日2～3丁目、桑野2～5丁目、下亀田一部、富田町(富田4区)富田町逢瀬川以南を区域として9の町内・自治会・区がある。行政機関・医療機関・商業施設が充実し、郡山市の第二の中心部として発展している。東西南北に、幹線道路があり、交通機関の利便性がよい。

また、中心地ではあるが自然豊かで、地域内には子どもから高齢者まで四季折々を楽しみながら、ゆっくりと時間を過ごすことが出来る公園がある。

### 【活動の歩み】

#### 令和元年8月28日 勉強会

講話「もっと豊かな地域をつくるには」(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)  
参加者：町内会、民生児童委員、

支部社協、  
地区ボランティア連絡会、  
交通安全協会、  
明るい町推進委員会、  
防犯協会、青少年健全育成、  
保健委員会、  
高齢者あんしんセンター 等

#### 令和元年10月3日 勉強会

説明「協議体と生活支援コーディネーターについて」また、今後日常生活で困ることについて参加者の方々と現状把握を行った。

#### 令和2年1月29日 打ち合わせ会・協議体設置

協議体について、地域の方々にご理解をさせていただく事が大切なため、チラシ等を作成し個々に呼びかけを行っていき事となった。

# 田村町を繋ぐ助け合いのネットワーク



認知症になっても安心して暮らせる  
田村町

## 協議体の方向性

田村町では勉強会時のアンケートより「認知症になっても安心して暮らせる田村町」を掲げて活動をしている。コロナ禍であることから各行政区や体操をされている方々など人数を限定し各地で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への理解を深めている。



## 認知症サポーター養成講座参加者の声

- ・地域で認知症について、悩んでいる人がいたら、声を掛けてみたり、相談にのったり、自分ができることを地域の人にしてあげたらなあと思います。困った時はみんなで助け合っていけるような地域にしていきたい。
- ・何度聞いても良いし自分の為だけでなく、家族や友人の為にもなる話だと思う。

## 【活動の歩み】

令和2年2月13日 説明会・協議体設置  
講話「もっと豊かな地域をつくりには」  
(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)

令和2年10月30日 協議体

認知症になっても安心して暮らせる田村町をテーマに開催。  
・認知症の人と家族の会郡山地区代表 芦野正憲氏より  
「地域の理解で認知症とともに・・・  
認知症になっても安心して暮らせる社会へ」

・田村高齢者あんしんセンター橋本直子氏より  
「田村地区の認証に関する実情と認知症サポーターについて」

⇒田村地区各地での認知症サポーター養成講座の開催  
・9か所で開催。



## 【地区の特徴】

郡山市の中心市街地から東南に位置し、東から西まで17kmある町。総面積91.73km<sup>2</sup>の約半分を山林・原野が占める自然豊かな地域。

田村町東部は山間部で農業を中心とした生産活動が行われている。田村町西部には工業団地があり、それに伴い住宅や様々な店舗がある。国道49号線沿いには商店も立ち並び住宅街も多くある。

## 地域のニーズにあわせた支え合いの活動



地域組織の活動を通して地域の絆を深めています



見守りを強化するため認知症サポーター養成講座を受講

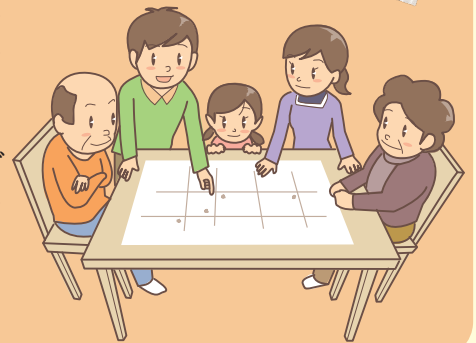
## 説明会へ参加された方の声

- ・地域で活動している団体の情報共有をする場を持ちたい。
- ・役員が年度ごとに交代してしまうので、なかなか活動につながりにくい。
- ・すでに見守りなどの活動をしている町内会もある。  
そこを参考にして他の町内会でも取り入れていくのはどうか。

## 協議体の方向性

現在は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、大人数での会合等の開催が難しい状況にあります。

そのため、南地区全体で話し合いを行うことは困難と判断し、状況が落ち着くまでの間は町内会単位及び最小人数での話し合いや活動を行っていく予定。



## 19 南

住民同士で声をかけあい  
見守り活動

## 【地区の特徴】

南地区は、針生地区町内会連合会と南連合町会のエリアを併せた地域で、西はあさか野バイパス、東は内環状線という大きな幹線道路に面した地域のため交通の利便性の良い地域。

地域の集まりに利用されている中央公民館針生分館は、趣味活動の団体が多く利用し、住民の皆さんが交流を深めている。

## 【活動の歩み】

令和元年8月17日 説明会  
「協議体と生活支援コーディネーター」  
参加者：町内会長、民生児童委員

令和元年10月1日 説明会  
「協議体と生活支援コーディネーター」  
参加者：町内会長

令和2年9月25日 説明会・協議体設置  
「協議体と生活支援コーディネーター」  
参加者：支部社協

令和3年3月27日 説明会  
「協議体と生活支援コーディネーター」  
参加者：町内会役員

令和3年11月19日 協議体（針生エリア）  
地域活動団体間の情報共有、意見交換  
参加者：町内会長、民生児童委員、支部社協

## 一人ひとりに寄り添った思いやりの活動



地域ケア会議と協議体の役割を理解していただくための勉強会を実施

### 個人ワークで協議体の具体的な話し合いの模擬練習



# 20 小原田

話し合いだけでは終わらせない！  
地域をより良くするための実働部隊

### 協議体参加者の声

- ・高齢化している地域もあるため、こういった取り組みは今後必要になってくるのではないかな。
  - ・難しく考えることなく、いきいき百歳体操など既存の組織で活動の延長線として話し合うなど、新規で組織は作らず、身近な単位の小地域で話し合いが出来ると良い。
  - ・無理のない、これならできるということから始めてみてはどうか。
  - ・「まずはやってみよう!」と思うことが少ない。手探りでも良いので何でもやって欲しい。
  - ・古い街のイメージが強いので、新しさや若さが導入できるよう考えたい。
  - ・今まで行ってきたサロンや集まりなどの意義を勉強会で再確認することができた。今後も続けていきたい。
  - ・各団体が高齢者に対することをそれぞれ実施している。それを各団体と連携し更に、事業の充実を図っていくことが求められている。そこをどのようにしていくかの組織を立ち上げ、話し合いを進めていく中で確認し、実行していく必要がある。
  - ・少数で多数を見るのは大変。でも逆だったら見られる側の人に見守る仕事を預けてみる。家の中に引っ込んでいるのではなく、外に目を向けて欲しい。
- 「協議体」を理解して「協議隊」を発展させるみんなで支え合う気持ちを作る。

### 【活動の歩み】

#### 令和2年6月～8月 説明会

「協議体と生活支援コーディネーター」各種団体の定例会に出席し、協議体と生活支援コーディネーターについての説明を実施

#### 令和2年11月26日 勉強会・協議体設置

講話「もっと豊かな地域をつくるには」(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)  
参加者：町内会、支部社協、民生児童委員、行政機関、郵便局、交番、医療機関、高齢者あんしんセンター

#### 令和3年6月14日 協議体

協議体の振り返りと個人ワーク「地域ってなに?～住民の暮らしから地域を考える～」、協議体の愛称についてアンケート実施

#### 令和3年10月28日 協議体

小原田地区協議体の愛称が『小原田ふれあいの会』に決定。  
グループワーク『小原田地区協議体の方向性について～10年後の小原田地区での暮らしを想像してみよう～』

### 【地区の特徴】

郡山市の南部に位置し、国道49号線及び阿武隈川に挟まれた一角を占める地域で閑静な住宅地である。

江戸時代には、旧奥州街道沿いの宿場町として栄え、現在も当時の『樹形』(直進できないように道路を左右に直角に曲げ、土塁や柵で塀を築いた施設)の面影を残した道路が残っている歴史のある地域。

人口は約8,100人。昭和、小原田、香久山といった離れた地域となっており、それぞれ小地域ごとの活動が活発に行われている。

## オール緑ヶ丘で取り組む地域の輪



オール緑ヶ丘で地域づくり  
～協議体の勉強会の様子～



住宅街ならではの地域の見守りの目  
～友愛訪問の様子～

### 協議体参加者の声

- ・自分が年をとっても緑ヶ丘に住み続けるには協議体の設置は大切だと思った。
- ・無理なくできることから地域づくりが大切。
- ・健康で元気な高齢者を募集して地域のパトロールの人員を増やしたい。  
子供たちの見守り隊を増やしたい。
- ・相手を想う文化（気を遣う文化）を現代風に 変化させる必要があると感じた。

### 協議体の方向性

緑ヶ丘地区各種団体連絡調整会議と協議体の趣旨が同様の為、緑ヶ丘地区町内会連合会が事務局となり運営する。（写真1）

各種団体、学校、幼稚園に加え地域企業に参加いただくことで地域力の向上を図りたい。

普段より地域の団結力が強く、住宅街ならではの絆を守りながら各町会、団体で情報共有し、切磋琢磨しよりよい地域を作る場にしていきたい。



写真1



写真2

地域団体の絆で繋ぐ福祉の心

# 21 緑ヶ丘

### 【地区の特徴】

緑ヶ丘地区は郡山市の東側に位置している、市街地を臨む閑静な高台の住宅街。

利便性と自然豊かなニュータウンとして造成され、戸建て住宅と公営住宅が混在している。現在は約2,600世帯が暮らしている。

街の中心に幼稚園、保育所、緑ヶ丘ふれあいセンター、駐在所、子育て支援センター、スーパー、銀行ATM、郵便局、病院等があり住民の生活を支えている。

### 【活動の歩み】

**令和2年9月9日 地域のキーパーソンと打ち合わせ**  
昨年度の生活支援コーディネーターの活動報告、緑ヶ丘地区における協議体の方向性の確認

**令和2年11月29日 勉強会・協議体設置**  
講話「もっと豊かな地域をつくりには」  
(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)  
緑ヶ丘地区各種団体連絡調整会議と同時開催となる。

**令和3年6月 緑ヶ丘地区各種団体連絡調整会議**  
→新型コロナウイルス感染症の影響により延期

### 令和3年7月 緑ヶ丘地区友愛訪問（写真2）

郡山地区社会福祉協議会緑ヶ丘支部福祉委員、各町内会長、民生児童委員が協力し友愛訪問を行った。

この事業により、各会長が自分の町内会の実情を社会福祉協議会福祉委員、民生委員と共有できる事が有意義であり、ひいては緑ヶ丘地区協議体の活動（支え合い）に繋がって行くと思います。



## 仲間づくり・健康づくりに積極的に取り組み いきいきと輝ける活動



「協議体」の理解を深める  
(グループワーク)



活発な取り組み  
(事例発表)

### 協議体設置の背景

喜久田町では、平成27年度に、住民の方々や医療・保健・福祉等の関係者が集まり、地域住民が安全・安心に生活できるよう地域ケア会議である「喜久田町お結び会」が組織された。

平成29年度からは、セーフコミュニティの考え方も含め地域の課題について、話し合いを行ってきた。

令和2年度には協議体が設置され、その趣旨がお結び会と同様であることから、お結び会の場において、地域ケア、セーフコミュニティと併せて、協議体の活動についても話し合いを行うこととなった。

以前から活発に活動しています。



### 【活動の歩み】

#### 令和2年2月12日 喜久田町お結び会

講演及びグループワークにより、協議体の理解を深める。

- ・講演「もっと豊かな地域をつくるには・・・」  
(さわやか福祉財団さわやかインストラクター)
- ・グループワーク

「喜久田町のために私たちができること」

- 参加者：区長会、民協、保健委員会、老人クラブ連合会、交通安全協会、交通安全母の会、防犯協会 他

#### 令和2年12月10日 協議体設置に向けた意見交換会

協議体設置に向け、関係団体等による意見交換

- 参加者：区長会、民協、保健委員会、老人クラブ連合会、明るいまちづくり推進委員会、地区社協 他

#### 同日協議体設置

関係団体から協議体設置の了承を得て、お結び会の場で協議体の話し合いを進めることとなった。

#### 令和3年2月10日 喜久田町お結び会

協議体設置の趣旨説明、地域の活動の事例発表

- 参加者：区長会、民協、保健委員会、老人クラブ連合会、交通安全協会、交通安全母の会、防犯協会 他

# 22 喜久田

地域とつながり、住み慣れた場所で  
安心して暮らせる地域

### 【地区の特徴】

広大な水田による豊かな田園地域と区画整理などにより開発された新たな市街地が共存している。

春には、藤田川堀之内橋を中心に兩岸2.7kmに渡って、300本以上のソメイヨシノが咲き誇る。

また、国道4号、国道49号、磐越西線(喜久田駅)、さらに東北道郡山インターチェンジ、郡山ジャンクションがあり、交通の利便性に恵まれた地域である。

## 盛んな交流からお互いを見守る思いやりの場



和気あいあいとした雰囲気の中で  
話し合う地域の気づき

### 協議体参加者の声

- ・活動を通して、誰にも相談できないような環境にせず、地域住民で協力し合い助け合って良い人生を過ごせるような地域にしたい。
- ・自分たちの地域を客観的に見ることで各個人が自主的に行っている雪かきや草むしりなど、思いやりの活動が多いことを知った。
- ・町内ごとの違いもあるのでこのような場で情報を知れるのは良い。



### 協議体の方向性

富久山町は範囲が広い地域のため、小さな単位でエリア分けをした中で協議体の設置を進めていくこととなった。地域の方に協議体の理解を深めながら進めて行く予定である。

各地区で行っているサロンが活発で地域住民の交流が盛んである。サロンの場を母体として地区の町内会連合会や町内会と連携をとり、ゆくゆくは様々な団体に参加してもらいながら活動をしていく。

コロナ禍により活動自粛を余儀なくされている所もあるが、出来る地区から徐々に取り組んでいる。



### 【地区の特徴】

郡山市の中心部に近く、区画整理が進み人口が増えている。郡山市の中では、比較的若い人が多い。高齢化率は、郡山市の中では低い。一人暮らし世帯、高齢者世帯が多い地域である。

富久山町には阿武隈川があり、逢瀬川、愛宕川、藤田川などの支流が流れている。令和元年10月の台風19号では、水害により約700世帯が床上浸水などの大きな被害が発生した。

紀元前4000年頃の遺跡が発見されており、古くから人が住んでいた形跡が見られる歴史の古いまちである。

「富久山」の地名は明治9年当時の久保田・福原・八山田の3か村が合併した際に初めて名づけられた。

### 【活動の歩み】

令和3年1月27日 説明会・協議体設置

事業説明・質疑応答など

令和3年7月28日 協議体

前回の振り返り、グループワーク「富久山町小泉地区の支え合い・助け合いについてできていること、生活をしていく上で困っていること」

参加者：小泉おしゃべり倶楽部、小泉地区連合会、高齢者あんしんセンター



# 地域には素晴らしい活動がいっぱい！！ 支え合いの形に繋がっていきます！



10年後、20年後も安心して暮らせるように、今のうちからできることをしていきます。



コロナ禍でも「できること」を「できる形」で！

## 勉強会でのアンケート結果

- ・百歳体操などの通いの場が欲しい。
- ・散歩愛好者が多いので、散歩パトロールができると思う。
- ・これからは、支援を必要とする方から話を聞く必要がある。
- ・高齢者の見守りを強化したい。
- ・見守り活用のマップ作りをしたい。

以上のような意見がありました。  
これらの地域の声を基に、できることを検討していく。



## 【活動の歩み】

令和2年11月

大槻地区協議体立ち上げに向けた説明会

参加者：町内会、民生児童委員、高齢者あんしんセンター、行政センター

令和3年2月 勉強会・協議体設置

講話「もっと豊かな地域をつくるには…」  
(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)

参加者：町内会、民生児童委員、支部社協、高齢者あんしんセンター、行政センター

令和3年11月14日 協議体(御花畑町内会)

見守りや防災を目的とした大槻地区「互近助支え合いマップ」の作成。今後、各町内会ごとに作成予定。



# 24 大槻

「向こう三軒両隣」の精神を見つめ直し、誰かを支え、誰かに支えられる「お互い様の関係」を築いていきます！

## 【地区の特徴】

大槻町は、自然と都市が融合した地域です。かつては安積疏水の灌漑による農業が盛んな地域であったが、東西に主要地方道郡山・湖南線、南北には主要地方道郡山・矢吹線の幹線道路が走っていたり、旧来からの郡山市域に隣接しているため、現在では郡山市街地のベッドタウンとして人口が大幅に増えている。

大槻地区協議体は、大槻中央地区町内会のエリアとし、世帯数約3,300ほどあり43町内会を有する。



## みんなが安心して暮らせる地域を目指し、 活躍されている方がたくさんいます！！



近隣の高校生から  
手作りマスクの寄付がありました。  
民生委員さんから地域の高齢の方へ  
お届けしました。



『小山田いきいき体操』の様子。  
団地のベランダや公園で体操し、  
人とのつながりを実感しました。



### 活動の方向性

○令和3年6月19日

『小山田地区第2層協議体活動に向けた打ち合わせ』

<参加メンバー>

- ・郡山地区社会福祉協議会  
小山田支部の有志の皆さん
- ・小山田方部民生児童委員協議会会長
- ・老人クラブ小山田方部豊寿会会長
- ・小山田地区町内会連合会顧問、  
会長計8名

地域の誰もが参加しやすい協議体  
をめざしていくこととなった。

○令和3年11月26日

『小山田地区第2層協議体』開催

各種団体の代表者で情報交換を

行い、地域の素晴らしい活動や今後取り組みたい活動を再確認した。次回以降、  
参加メンバーを増やし話し合いを深めていく。



『小山田地区第2層協議体発足式』の様子  
大槻交番所長や小山田小学校校長、小山田  
地域で活躍されている各種団体の代表の方  
が参加した。

### 【活動の歩み】

令和2年11月17日

協議体設置に向けた第1回準備会

令和2年12月5日

協議体設置に向けた第2回準備会

令和3年1月30日

協議体設置に向けた第3回準備会

令和3年2月23日

協議体設置に向けた最終打ち合わせ

令和3年2月27日

小山田地区第2層協議体発足式・協議体設置  
講話「もっと豊かな地域をつくるには…」  
(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)

令和3年11月26日

小山田地区第2層協議体開催  
小山田地域で活躍されている各種団体の代表者  
で情報交換を行った。

25

# 小山田

このまちで育ち、  
このまちでいつまでも元気に…  
老若男女みんなでも元気に支え合う地域

### 【地区の特徴】

陸上自衛隊郡山駐屯地の  
北側に位置し、市営団地を  
有する地域。

子ども見守り活動をはじ  
めとした、地域活動に取り組  
む団体が多く存在する。

郡山地区社会福祉協議  
会小山田支部が行ういきい  
きサロンでは、今年新たに  
いきいき百歳体操を取り入  
れた。コロナ禍ではあるが、  
万全な感染症対策のもと賑  
わいをみせている。

【芳賀地区では『芳賀地区各種団体連絡協議会』を協議体と位置付けて活動している】  
**各種団体が連携を強化し、より良い地域をつくる活動**

問題解決のための取り組みについて  
 情報共有  
 参考になる部分は取り入れていく



過去の水害を教訓にした  
 町会独自の危機管理体制で  
 今後の災害に備える

**協議体参加者の声**

- ・何かやらせるのではなく、今ある活動をなくさない為にみんなで取り組んでいけば良いということならやっていけそう。
- ・他の町内会・自治会の取り組みを聞けるのは参考になって良い。自分の所でも取り入れていきたい。
- ・どこの地域でも起こりうる問題。芳賀地区の共有課題としてアイデアを持ち寄り課題の解決をしていきたい。
- ・芳賀地区は以前より芳賀地区各種団体連絡協議会として活動を進めてきた。協議会は我々の生活（若い人から高齢者まで）の身近な問題の話し合いの場、協議体は高齢者が安心して生活できるための仕組みの一環としてのものがあるが、どちらも目的は同じであるため協力して進めていけたら良い。
- ・まったく違う立場からの見方もあって良いのではないかとこのことから、今後も家庭、学校、地域との連携を取りながら課題を共有して、明るい街にしていきたい。

**【活動の歩み】**

平成31年1月10日 説明会

説明「協議体と生活支援コーディネーターについて」

令和3年3月16日 勉強会

「もっと豊かな地域をつくるには・・・みんなで支え合う地域づくり」

芳賀地区各種団体連絡協議会総会

令和3年4月24日 説明会・協議体設置

説明「協議体と生活支援コーディネーター」  
 芳賀地区各種団体連絡協議会と協議体の目的が同等であるという見解から、芳賀地区各種団体連絡協議会の活動に生活支援コーディネーターも協働して活動していく。

【活動団体発表】東部自治会の取り組み事例について（新生東部自治会、ビッグ4の導入、自治会会員促進活動、ゴミ問題の対策改善等）

芳賀地区各種団体連絡協議会定例会

令和3年7月14日 協議体

（芳賀地区では『芳賀地区各種団体連絡協議会』を協議体と位置付けて活動している）

内容：芳賀地区地域支え合い通信の発行について  
 交流型サロン事業を開始した事業所の情報提供

【活動団体発表】水門町町内会

『水門町町内会における危機管理体制 他』

芳賀地区各種団体連絡協議会定例会

令和3年11月25日 協議体

内容：芳賀地区地域支え合い通信の発行について  
 団体発表の内容に関する情報共有

【活動団体発表】芳賀・小原田高齢者あんしんセンター

『地域における高齢者の見守り体制の在り方』

26  
**芳賀**

身近な支え合いを地域全体へ!!

**【地区の特徴】**

郡山駅の東方面に位置している。

交通の便が良く、総合病院にも近い。大型の商業施設や飲食店も多く点在しているが、一歩足を伸ばすと閑静な住宅街が広がる、生活利便性の良い地域である。

阿武隈川を中心に、笹原川、逢瀬川、谷田川の一級河川が集中していて、水害対策のための防災訓練等が定期的に実施されている。

## 地域住民の安心・安全の街づくりを目標に！



地域で協力し合って  
今できることから始めよう！



住民同士  
心かよいあう地域へ

## 協議体参加者の声

- ・菜根地区にお住まいの高齢者のちょっとした困りごとに対応していく。  
(生活支援、ゴミ出し)
- ・近所で買い物できる店舗がない為なにかできる支援は、ないだろうか？(移動販売)
- ・協議体の活動も若い世代の人が、参加できるように周知活動も大切だね。
- ・いきいき百歳体操を地域の居場所づくりとして検討してみたら。
- ・やっとゴミ出ししている高齢者を見かける
- ・ゴミ出しの時間に余裕が持てれば協力的な人が増えるのではないかな。
- ・協議体を理解し地域に広めていこう。



## 【地区の特徴】

荒れた荒野を耕し育てた大根を明治天皇に献上したことから菜根・菜根屋敷という地名になったとの由来がある。

内環状線や国道49号線も近く交通の利便性が高く、小中高の教育機関も近く、閑静な住宅地でもあり、自然の景観と調和のとれた地域である。

緑豊かな五百淵公園は、野鳥の森と隣接しており地域の憩いの場となっている。

## 【活動の歩み】

**平成30年12月13日 各種団体の説明会**  
内容：菜根地区の話し合いの場『協議体』の設置に向けての話し合い

**平成31年2月14日 勉強会**  
内容：講話「もっと豊かな地域をつくるには」(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)

**令和元年8月27日 勉強会の振り返り・グループワーク**  
内容：菜根地域のつながりをみんなで話し合い菜根地域の良いところ、自分達に出来る事は何かについて意見を出し合った。

**令和3年5月14日 協議体設置に向けた打ち合わせ**  
内容：菜根地域でつながりを強化し出来る事から始めよう！！⇒同日、協議体設置

**令和3年7月30日 協議体開催**  
内容：菜根地域の各団体が、集まり情報共有を行ない、今何が出来るか?!という視点で地域の課題解決のために話し合いを行なった。

**令和3年11月9日 協議体**  
内容：菜根地域の課題から住民同士の支え合い・助け合いを育てていくために『たすけあい活動・助っ人隊育成講座』と『認知症サポート養成講座』を広めていくことになった。また協議体の愛称も『菜根ささえあい』に決まりました。

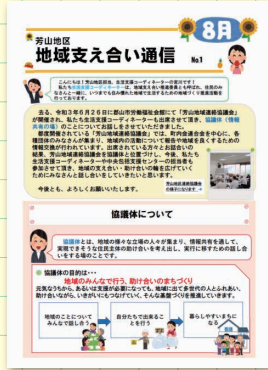
## 27 菜根

『今何ができるか』地域の横のつながりを深め  
安心して暮らし続けられる地域へ

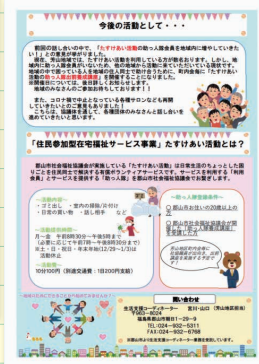
# 地域で支え、励まし合う心のつながり



芳山地域をより良くするための話し合う場「芳山地域連絡協議会」



芳山地区地域支え合い通信 No.1 発行



# 28 芳山

ひとりひとりの笑顔のために  
互いに助け合う地域づくり

## 設置の背景

- ・都度開催されている「芳山地域連絡協議会」では、町内会連合会を中心に、各種団体が集まり、地域内の活動について報告や地域を良くするための情報交換が行われている。結果、協議体と同じ目的であることから、「芳山地域連絡協議会」を協議体と位置づけすることとなった。

## 協議体の方向性

- ・たすけあい活動(有償ボランティア)の助っ人隊会員を芳山地区でも増やし、住民同士の助け合いを構築していきたい。

## 協議体参加者の声

- ・芳山地区は以前より、芳山地域連絡協議会として地域活動の推進強化を進めてきた。協議会は地域の活動について報告や情報交換、話し合いをする場であり、協議体もそれと同様な目的であるため、一環として取り入れ、協力して進めていけたら良い。
- ・マンション等の建設が多いため、町内会加入率が低いことが課題だ。
- ・地域の交流の場として、コロナ禍で中止となっている各種サロンなども再開していきたい。

## 【活動の歩み】

### 平成30年12月1日 説明会

芳山地域連絡協議会へ出席し「協議体と生活支援コーディネーターの役割について」説明を行った。  
参加者：町会連合会長・方部民協会長  
支部社協支部長・自主防災会会長  
保健委員会会長

### 令和元年度内 勉強会

(台風19号の影響や新型コロナウイルス感染拡大のため中止)

### 令和3年6月26日 説明会・協議体設置

芳山地域連絡協議会に出席し、協議体と生活支援コーディネーターについて再度説明を行い、これまでの経緯も併せて説明した。芳山地域連絡協議会と協議体の目的が同じであることから、今後芳山地域連絡協議会の活動に生活支援コーディネーターも協力していく



## 【地区の特徴】

芳山地区は、市の中心部に位置し、13の町内会がある。周りには、図書館などの文教施設や商店街、大型ショッピングセンター、事務所等ビルが多く建ち並んでいる。働く人たちの福祉施設として、郡山市労働福祉会館がある。憩いの場である芳山公園では、朝のラジオ体操を実施していたり、通勤通学やショッピングの途中に休憩場所として利用している方が多く、活気あふれる街並みである。

## 『地域共生社会』を目指した地域づくり！



『子供は地域の宝』  
地域全体で見守り



公民館利用の活発な地域！  
住民同士顔の見える関係性を継続し推進する

地域の高齢者支援！  
地域の福祉活動の充実  
住み慣れた地域で安心して  
暮らしていくための街づくり



### 協議体参加者の声

- ・子供達の放課後の居場所づくりや見守りボランティアの募集を町内会と連携してみたらどうかな？
- ・近所にある集会所を利用して交流できる場として親睦を深めてみたらどうだろうか？
- ・少子高齢化による担い手不足のため、各種団体（学校・PTA）の協力を得て若い世代と情報交換をしてはどうか？
- ・防災意識の中から活動を広げてはどうか？



### 【地区の特徴】

昔から情操教育の一助として、文化・教養・音楽・スポーツへの取り組みが盛んで文武両道の意識が高い地域である。

また、郡山駅からも近く商店街・商業施設・文化センターもあり住宅街と隣接している。地域関係団体も地域づくりに協力的である。郡山市指定重要有形文化財である『石造浮彫阿弥陀三尊塔婆』などの文化財も多く、近隣には荒池公園もあり住民の憩いの場となっている。

### 【活動の歩み】

令和2年8月22日 橘地区自主防災会説明会  
「協議体と生活支援コーディネーター」

令和2年12月11日 橘方部民生児童委員協議会  
定例会での説明会  
「協議体と生活支援コーディネーター」

令和3年2月6日 勉強会  
内容：講話「もっと豊かな地域をつくるには…  
みんなで支え合える地域づくり」  
(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)

令和3年3月16日 橘地区保健委員会 説明会  
「協議体と生活支援コーディネーター」

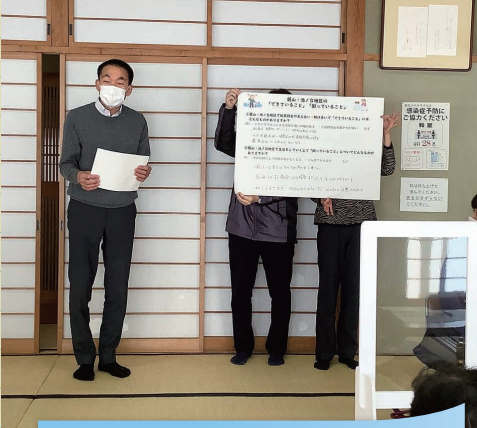
令和3年7月3日 意見交換会・グループワーク  
⇒同日、協議体設置

令和3年11月20日 協議体  
意見交換会から出た課題より  
『担い手』について話し合を行って行くことになった。

『地域で支え合い、繋がりを深め  
いきいきと輝くことのできる地域へ』

29  
橘

## 仲良く連携・支え合い繋がり合える地域活動



協議体スタート！  
協力し合い、地域づくり



地域での活動！

### 協議体の方向性

既存の活動を形にしてより良いものにしていくために『協議体』としてスタートした。今後、協議体で情報交換や地域課題を出し、解決するための話し合いを進めていく。

### 協議体参加者の声

- ・コロナ禍でコミュニケーションが取りにくく、情報共有は必要。
- ・マンション等の建設増加に伴い、町内会加入率が低いことが課題。



### 【活動の歩み】

令和2年9月25日 説明  
麓山・池ノ台支部長へ説明  
「協議体について」

令和3年度4月27日 説明  
麓山・池ノ台支部長へ説明  
「協議体と生活支援コーディネーター」

令和3年度7月3日 説明会・協議体設置  
説明「協議体と生活支援コーディネーター」  
参加者：自治会、支部社協、  
高齢者あんしんセンター



# 30 麓山・池ノ台

地域の未来を見据え  
あるべき地域福祉を目指した  
思いやりのある地域

### 【地区の特徴】

郡山駅から開成山公園方面に向かい、手前から麓山地区、池ノ台地区となっている。

市街中心部に位置する図書館や公会堂、21世紀記念公園や麓山公園があり、豊かな花・緑・水などを配した市民の憩いの場となっている。麓山公園は日本の歴史公園100選にも選出されている。

## お互いに寄り添い、さりげなく手を差し伸べる活動

31  
薫

かおを合わせ

おたがいさまで

見守る地域

お互いに声掛け合って  
深まる絆伝える・届ける  
ふれあい情報発信

## 【地区の特徴】

昔むかし、この辺りは鳥が  
いっぱい飛んできており、中  
には鶴もいた。江戸時代には  
二本松藩のお狩り場になっ  
ていて、鶴を眺めたり、鶴  
をとらないようにしていた。  
鶴が見える丘だから鶴見  
坦っという地名になった  
そうだ。

薫地域は旧郡山市のほ  
ぼ中央部にあり、周辺には  
開成山公園、麓山公園、酒  
蓋公園など緑の豊かな地域  
である。中央部には南北に  
走る内環状線、東西に走る  
文化通りがあり、近隣には  
保育園や小中学校がある閑  
静な住宅街である。

## 協議体参加者の声

- ・若い方は町内会に加入されていない方もいる。つながりをあえて持たない方もいるが、どう関わってもらったらいいかな？
- ・自分が体調不良になり、改めて民生委員の役割の偉大さを知り、手助けや声を掛けてくださる地域のみなさんの温かさに触れ、互助の大切を実感した。
- ・自分たちの今出来ている活動、持っている情報の範囲内で取り組んで、徐々に地域に広めていければいいね。
- ・自然災害の被害は少ない地域だけど、大きな地震が頻発しているし、今後の災害支援の備えも含めて、今ある情報を各種団体の垣根を越えて、情報共有することは大切だね。
- ・薫支部では5年前に見守りマップを作成したが、その後更新しなかったのも、改めて更新の必要性を感じた。



住民主体の取り組み

口コミで、広げる・広がる、  
薫いきいき百歳体操クラブ

## 【活動の歩み】

令和2年1月29日 薫地域キーパーソンへ説明会  
「協議体と生活支援コーディネーターについて」

令和2年2月22日 鶴見坦町内会へ説明会  
「協議体と生活支援コーディネーターについて」

令和2年10月19日  
郡山地区社会福祉協議会薫支部へ説明会  
「協議体と生活支援コーディネーターについて」

令和3年7月7日 薫いきいき百歳体操クラブ説明会  
「協議体と生活支援コーディネーターについて」

令和3年7月31日 説明会・協議体設置

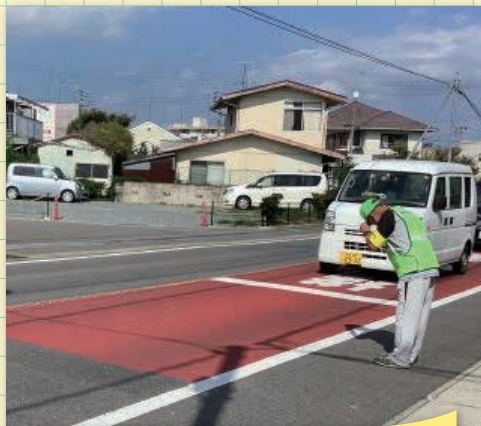
「鶴見坦地区連絡会」を開催し、各種団体の情報共有を行う。話し合いの場を今後も継続していくことで、同日、協議体がスタート。

参加者：鶴見坦町内会会長、副会長3名  
支部社協3役  
(各種団体役員の中に民生児童委員兼任者)  
高齢者あんしんセンター

# 子どもから高齢者まで見守りを！ 安心安全のパトロール



講師を招いて、地域づくり  
(協議体)の説明会を開催



小学生の見守り活動

## 説明会でのアンケート結果

○希望ヶ丘地区で話し合いたい内容や課題に感じていること

- 1位 子どもや高齢者等の見守りの強化
- 2位 高齢者の支援
- 3位 通いの場の普及
- 4位 交通手段(病院や買い物等)

○説明会での講話を聴いて、「これならできそう」と思ったこと

- ・百歳体操、集会所を利用して週に1回くらい。
- ・孤食をさけること。
- ・町内会、育成会、老人会等と共に何かを。
- ・一人暮らしの高齢者に毎朝挨拶に行く。
- ・いち住民として橋渡しのお手伝いが出来れば。



※説明会でのアンケート結果より一部抜粋



## 【活動の歩み】

○令和3年10月1日 協議体設置

『希望ヶ丘地区協議体設置に向けた説明会』  
講話:「もっと豊かな地域をつくるには…」  
(さわやか福祉財団さわやかインストラクター大山氏)



保育所との交流会♪

# 32 希望ヶ丘

小さな活動あちこちに  
全部合わせて大きな「希望」

## 【地区の特徴】

郡山駅から県道142号河内郡山線(通称:うねめ通り)を西に約5.5km以上、国道4号線をくぐった西側地域、富田町の南端と大槻町の北端に隣接する地点、大徳南、上西田、うねめの3町内と希望ヶ丘団地内9つの町内がある。大徳南、上西田、うねめは住宅地で、希望ヶ丘団地は戦後に引揚者住宅として建てられた古い一戸建て住宅と、その後建てられた24棟の中高層住宅で構成され、団地内には商業施設、郵便局、保育所、老人ホーム、市児童センターや市立図書館がある。

地区内には、福島地方務局郡山支局、郡山市医療介護病院、富田地域包括支援センター、銀行、病院、商業施設等、生活上の利便性も良く、人口の集中度も高い。



## つながる手と手は地域の輪！ 支え合いで明日を育む活動



心ひとつに住民主体のできることを探し！  
1人がみんなのために・みんなが1人のために



住民同士が  
力をあわせて支え合う

### 協議体の方向性

- ・金透地区の各種団体へ協議体スタートの周知説明会を開催し、併せて各団体の現状を把握するためのアンケートを実施し、地域資源の見える化を行っていくことになった。

### 協議体参加者の声

- ・駅前には、昼住んでいる人と、夜住んでいる人が違う、別の住まいから通っている方が多い。
- ・横のつながりが希薄化している、隣近所にだれが住んでいるかわからない。
- ・各団体へアンケートを行い、課題や困りごとを吸い上げその中からできることを見つける方がいいと思う。
- ・細沼方面と駅前方面と共に発展していかななくてはいけない。同じ解釈の中で、できること探しから支援の内容をおさえていくことが望ましい。



### 【地区の特徴】

明治時代に明治天皇が行幸の際、同行した木戸孝允が『陽気の発する如金石亦透精神一到何事不可』という漢詩から『金透』の名前をつけたと言われている。

金透地区は17町内会から成り、他地区とは異なり、全体の環境が特殊である。駅前から旧4号国道を挟み堂前・細沼地域も入り広範囲となっている。

郡山市の中心部に位置し、郡山駅ビルを中心にビッグアイや飲食店のテナントビル・ホテルや総合病院・教育機関等マンションや戸建てが立ち並んでいる。

県内外からの玄関口として通勤・通学他たくさんの方が行きかう町である。郡山駅西口広場や科学館が隣接され多くの子供達も集う場所となっている。

また如宝寺には、国指定重要文化財が数多く登録されていることで知られている。

### 【活動の歩み】

令和元年7月5日 金透方部民生児童委員協議会定例会での説明会  
「協議体と生活支援コーディネーターについて」  
参加者：民生児童委員

令和3年11月15日  
キーパーソンの説明会

「協議体と生活支援コーディネーターについて」  
参加者：町内会連合会、支部社協、  
民協、高齢者あんしんセンター



# 33 金透

人と人がつながり支え合う  
「我が事」「生きがい」を考え  
ふれあいを大切にする地域





## 「郡山市協議体の活動状況」

発行 令和4年1月  
発行者 郡山市  
社会福祉法人 郡山市社会福祉協議会  
〒963-8024 福島県郡山市朝日1丁目29番9号  
郡山市総合福祉センター内  
TEL 024-932-5311 FAX 024-932-6768  
E-mail [k-shakyo-f@violin.ocn.ne.jp](mailto:k-shakyo-f@violin.ocn.ne.jp)  
ホームページ <https://koriyama-shakyo.jp/>



ホーム  
ページ



face  
book



You  
Tube